

HR-17 標準抵抗器

取扱説明書

第3版

本器を末永くご愛用いただくために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しい方法でご使用下さい。

尚、この取扱説明書は、必要なときにいつでも取り出せるように大切に保存して下さい。

目 次

1. 概 要	P 1
2. 仕 様	
2.1 設定抵抗値	P 1
2.2 抵抗値の許容差	P 1
2.3 抵抗素子の定格電力	P 1
2.4 抵抗素子の最高使用電圧	P 1
2.5 抵抗素子の温度係数	P 1
3. 構 造	
3.1 一般事項	P 1
3.2 ケース	P 1
3.3 パネル	P 1
3.4 外形寸法	P 2
3.5 重 量	P 2
4. 表 示	P 2
5. 附 属 品	P 2
6. 回 路 図	P 2
7. 外 観 図	P 3
8. パネル面の説明	P 4
9. 校 正 試 験	P 5

1. 概 要

本器、HR-17形標準抵抗器はDC10kV出力高電圧絶縁抵抗計DIシリーズの目盛校正試験を行う為に設計、製作されたものです。ケースはアルミトランクケースを使用している為、小型、計量で携帯に便利なものとなっています。

2. 仕 様

2.1 設定抵抗値

10MΩ / 100MΩ / 1GΩ / 10GΩ / 100GΩの5点測定

2.2 抵抗値の許容差

本器の抵抗値の許容差は、JIS-Z 8703に定められた標準状態（標準温度23℃、標準湿度65%）に於いて下記の通りとします。

抵 抗 値	許容差 (%)
10MΩ	±1
100MΩ	±1
1GΩ	±1
10GΩ	±1
100GΩ	±1

2.3 抵抗素子の定格電力 3W

2.4 抵抗素子の最高使用電圧 DC 10kV

2.5 抵抗素子の温度係数 ±200ppm/℃以内

3. 構 造

3.1 一般事項

本器は、小型・軽量で取り扱い易く、振動及び衝撃に対し丈夫で、携帯にも便利な構造となっています。

3.2 ケース アルミトランクケース

3.3 パネル [材 質] アルミ

[表面処理] アルマイトヘアライン処理

[表 示] シルク印刷

3.4 外形寸法 307±10(W)×187±10(D)×150±10(H)mm (突起物を含まず)

3.5 重量 約 2.5 kg

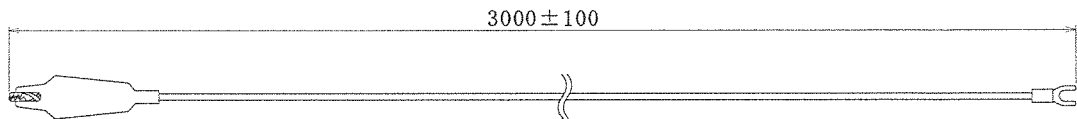
4. 表示

本器には、次に示す事項を見易い箇所に取り付けた銘板又はパネル面に表示します。

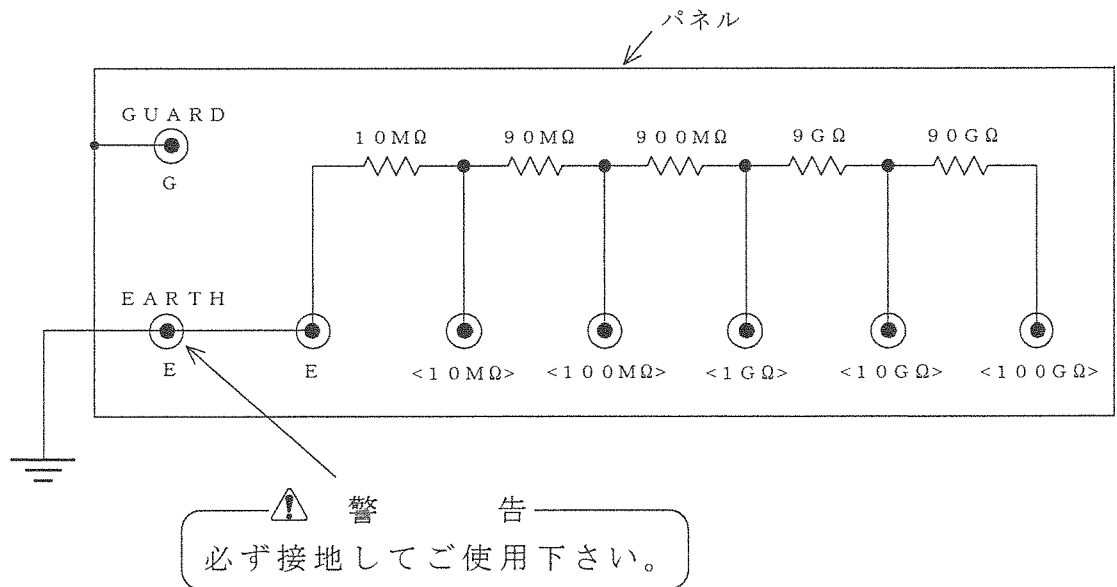
- ① 名称
- ② 抵抗値
- ③ 製造者
- ④ 製造番号
- ⑤ 製造年月

5. 附属品

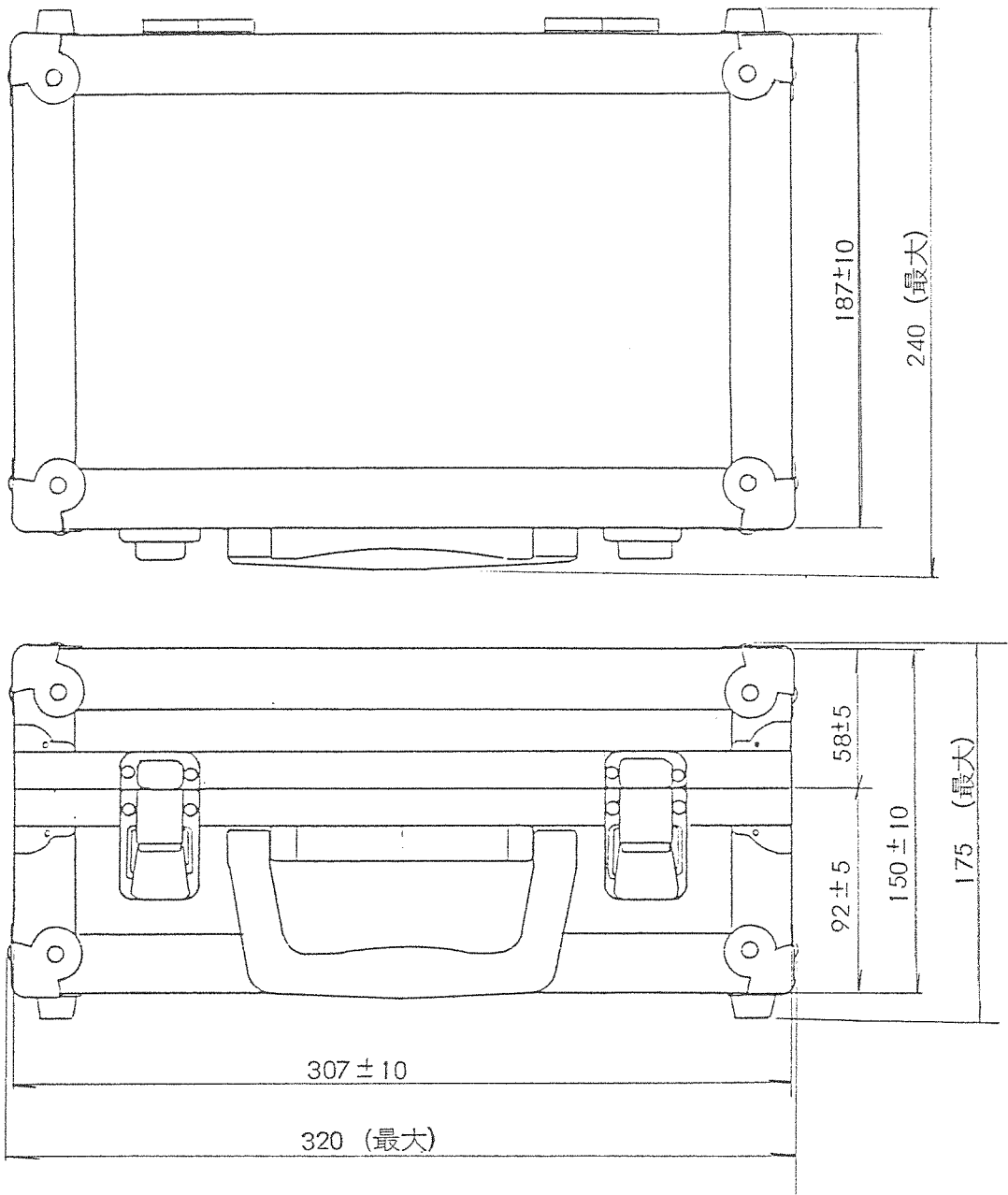
接地コード 3m±10cm 1本



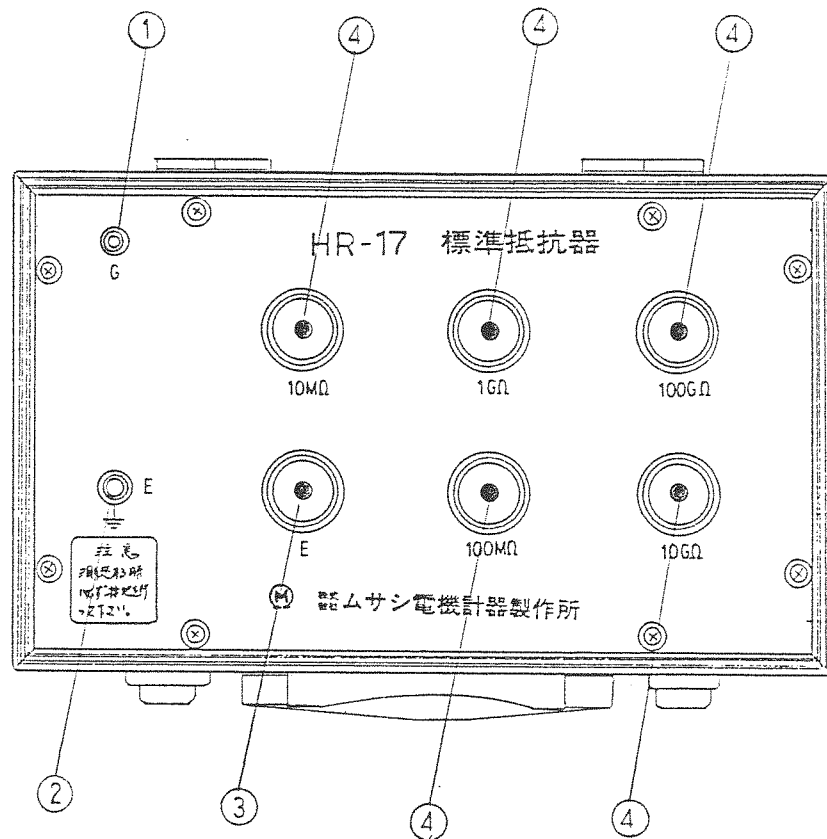
6. 回路図



7. 外観図



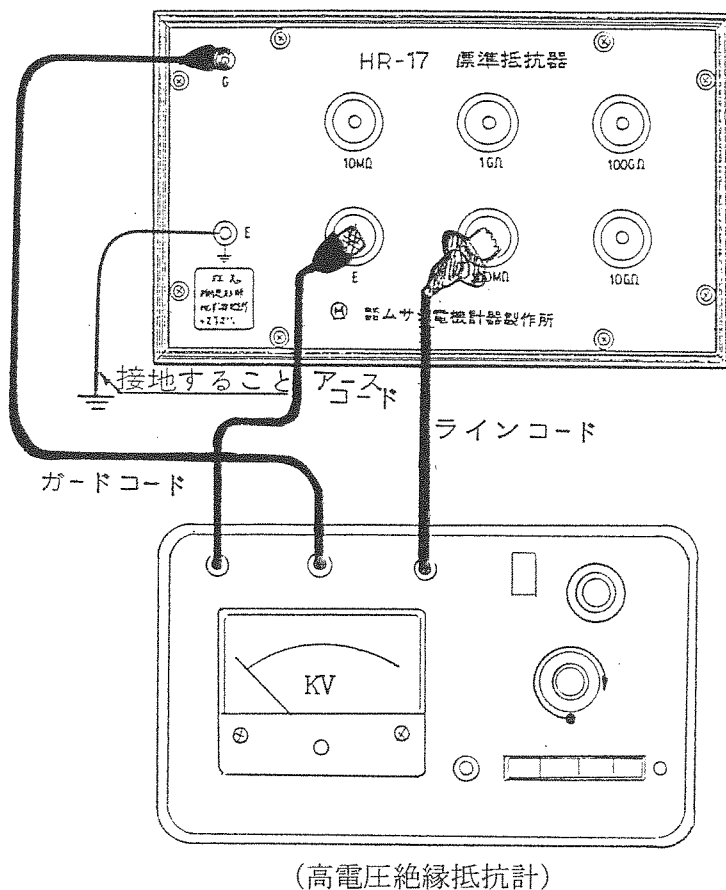
8. パネル面の説明



- ① ガード端子 [G]
本器 (HR-17形) のパネル表面リークの除去用端子
(高電圧絶縁抵抗計のガードコードクリップを接続します。)
- ② 接続端子 [E $\frac{1}{2}$]
本器 (HR-17形) の接地用端子
(本器付属の接地コードを用いて、必ず接地して下さい。)
- ③ 接地端子 [E]
高電圧絶縁抵抗計の接地用端子
(高電圧絶縁抵抗計のアースコードクリップを接続します。)
- ④ 抵抗端子 [10MΩ / 100MΩ / 1GΩ / 10GΩ / 100GΩ]
高電圧絶縁抵抗計の抵抗校正用端子
[高電圧絶縁抵抗計のラインコード (クリップ又はプローブ) を接続します。]
(E端子間との抵抗値を表示)

9. 校正試験


(1) 本器、HR-17形と高電圧絶縁抵抗計との接続は下図の用にして下さい。



- (2) 本器の②接地端子 (E) を附属の接地コードを用いて接地して下さい。
- (3) 本器の①ガード端子 (G) に高電圧絶縁抵抗計のガードコードを接続します。
- (4) 本器の③接地端子 (E) に高電圧絶縁抵抗計のアースコードを接続します。
- (5) 高電圧絶縁抵抗計のラインコードクリップ (又はプローブ) を校正しようとする④抵抗端子に接続します。
- (6) 高電圧絶縁抵抗計の取扱い説明書に従って、高電圧を出力し絶縁抵抗指示の校正をして下さい。

警告・注意

1. コードの接続は充分確認の上、確実に行って下さい。
2. 高電圧機器を取り扱う為、充分安全性を考慮して試験を行って下さい。
3. コードは定期的に断線、絶縁不良がないか点検して下さい。

 **警告・注意**

1. 高電圧絶縁抵抗計のアースコードは③接地端子 [E] に接続し、ラインコードは④抵抗端子に接続して下さい。もし、アースコードを④抵抗端子、ラインコードを③接地端子 [E] に間違って接続しますと、②接地端子 [E] の耐電圧破壊を起こす恐れがありますので、絶対に間違えないで下さい。
2. コードの接続は、充分確認の上、確実に行って下さい。
特に高電圧絶縁抵抗計のラインコード、アースコードのクリップが端子の金具に確実に接続されているか、確認して下さい。
3. 結線及び校正時の抵抗切換は、必ず高電圧絶縁抵抗計の出力OFFの状態で行って下さい。
4. 高電圧機器を取り扱う為、充分安全性を考慮して試験を行って下さい。
5. 本器の接地端子とG端子間の耐電圧が低い為、他メーターの高電圧絶縁抵抗計等を校正する場合は、結線には注意して下さい。